

ここに注目！ **地域の資源を再認識してあるべき姿を可視化、地域と一体感のある商店街を目指す。**



ポイント

外宮参道発展会では、平成15年から地道な勉強会を継続し、地域資源である伊勢神宮への理解増進を図るとともに、商店街のあるべき姿を明文化していった。それをもとに、荷物預かりやベンチの設置等に取り組むとともに、平成23年には跡継ぎが途絶えた老舗の刃物店を継承し、交流拠点「伊勢菊一」として整備した。これらの取組により、過去3年間で約30店が新規出店。来街者は大幅に増加しており、魅力あふれるまちづくりに成功している。

[商店街概要及び取組の背景]

伊勢神宮の「遷宮」を再興のチャンスに！

外宮参道は、近鉄・JR 伊勢市駅から伊勢神宮の「外宮」に至る約400メートルの参道に形成された歴史ある観光広域型商店街である。20年前の伊勢神宮の遷宮を機に「内宮」前の「おはらい町」が賑わいを取り戻したのに対し、外宮参道では1960年代後半から来街者が減少し、空き店舗も増えていた。このため外宮参道発展会では、平成25年にクライマックスを迎えた「遷宮」を再興のチャンスと捉え、約10年前より様々な活性化策に取り組んできた。

[取組の概要・効果]

Plan・Do

神宮への知識を元にしたPRとおもてなし

地元の商店主に伊勢神宮に関する理解・知識が乏しく、来街者へのおもてなしが不十分であった現状を踏まえ、神宮に関する理解の増進が重要である点を共有化した。また、昭和40年代以降、内宮だけの「片参り」が増えたことが内宮と外宮の参拝者数の格差を広げ、外宮参道の衰退を招いたことから、「外宮先拝」の重要性を内外にアピールし、平成19年には通りの名前を



「外宮参道」に改名した商店街

100年以上続いた「神宮参道」から「外宮参道」に改名した。

さらに、統一感ある古いまちなみで人気を博する内宮前「おはらい町」との差別化を図りつつ、地域コミュニティと一体感のある商店街を目指すべきとのビジョンを掲げ、観光案内やお伊勢参りのガイド、内宮前にはない魅力的な店舗の出店支援、個店での荷物預かりやベンチの設置、神話を題材とした土産物の開発・販売を実施した。

[効果の評価と改善策の実施等]

Check・Action

食の神を祀る外宮ならではのまちづくり

20年に一度の伊勢神宮の「遷宮」の機会を捉えた取組により、減少傾向にあった店舗数は増加に転じ、過去3年間で約30店が新規出店(7店退店)。出店希望者は絶えず、空き待ちの状態が続いている。

地元の食材を扱う食料品店、夜間も営業する魅力的な飲食店が多数出店し、食の神を祀る豊受大神宮(外宮)にふさわしい門前町が実現。こうした飲食店は、ブティック等の買回り品の店舗とともに、地元住民にも好評である。

[実施体制]

交流拠点を核に、ビジョンを着々と実現化

外宮参道発展会では、将来のあるべき姿を目指した取組を着々と実行に移してきた。その際、伊勢ライオンズクラブから寄贈されたVRシステムを用い、将来像を可視化し、イメージを共有するとともに、効果的な町並み整備に向けたシミュレーションを実施。さらに神宮に関する講演会や地元住民や子供達に対する啓発、後継者育成に取り組んでいる。

運営にあたっては、JUING 合同会社が、外宮参道発展会の事務と情報・交流拠点の役割を担っている。

また、伊勢市、伊勢神宮、商工会議所、観光協会、近鉄等とは、外宮・内宮の両宮を参拝するキャンペーンや、全国から食の神である外宮への奉納やその市、外宮勾玉池での奉納演奏などの企画・実施等で協力関係にある。

基本データ

所在地：三重県伊勢市本町

会員数：62名

店舗数：58店舗

関連URL：<http://isekikuichi.com/gekusandou>



交流拠点「伊勢菊一」



キーパーソン

外宮参道発展会
会長 山本 武士

まちづくりは誇りづくり

私が会長に就任した平成14年頃は、外宮の参拝客が一番落ち込んだ頃で、参道としても商店街としても衰退していました。平成5年の遷宮の時も、内宮前の「おはらい町」が町並みを整備し、着々とまちづくりを進めていったのに対し、外宮参道はほとんど何も取り組みませんでした。

そこで私たちは、「まちづくりは誇りづくり」という考えの下に、伊勢神宮や外宮のすばらしさを勉強し、どうすれば神様に喜んでいただけるか、来訪者に気持ち良く参拝していただけるかを徹底的に話し合い、ひとつひとつ実行していきました。すると、「さすが伊勢のおもてなしは違いますね」と褒められる。こちらも気持ちがどん

どん前向きになっていくわけです。

ちなみに、参道の通行量は、平成15年3月を1とすると平成24年が2.1倍、平成25年は4.9倍、同年秋には10倍近くに増えました。商人は、まちの人が輝いている街に目を付けるものです。結果、どんどん新規出店が増えていきました。

「外宮のまち山田」をめざす

外宮参道の活性化はうまくいきましたが、小さな商店街なので限界があります。幸い伊勢市の外宮周辺(旧山田)には10の商店街が接続しており、その延長距離はおそらく日本一になります。これを「山田商店街」と名付け、「外宮のまち山田」としてPRしていきたいと考えています。

最近、各商店街の若手と取り組みはじめたところで、手始めに「伊勢菊一」のような交流拠点をあと4つ整備します。地元と来訪者との心の絆を深め、「来年もあなたに会いに、伊勢に来ます！」と言ってもらえるまちをめざします。